

# くまもと

議会だより

85号

2017.1.25



1月5日、総合運動公園で球磨村消防団出初式が実施されました。  
今年も、通常点検と放水競技で競い第6分団の総合優勝でした。

(写真は放水競技の様子)

|             |                       |      |
|-------------|-----------------------|------|
| こ<br>ぐ<br>も | 12月の定例会 .....         | 2~3  |
|             | 一般質問における発言の要旨一覧 ..... | 4    |
|             | 一般質問 .....            | 5~11 |
|             | 地域文化の継承と親睦を大切に.....   | 12   |

## 農業委員、公選制から任命制へ 法律改正により次回(29年7月)から

第8回12月定例会は、12月12日から16日までの5日間の日程で開催され、条例制定2件、平成28年度の一般会計及び国民健康保険特別会計、介護保険特別会計の補正予算3件、人事関係1件、工事請負契約関係1件の7議案を初日に上程しました。

一般質問では、7人が登壇し、各種施策や行政課題について執行部の考えを質しました。最終日16日には、当初上程の全議案を審議し、それぞれの議案を可決、同意しました。

また、議員発議で、「議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書」案が上程され可決され、陳情関係で「鉄道の安全・安定輸送」及び「地域を支える鉄道の発展」を求める意見書案が上程され可決されました。

定例会初日の12日は、まず9月定例会以降の諸般の報告、例月出納検査結果報告、人吉球磨広域行政組合議会の報告、人吉下球磨消防組合議会の報告を行いました。続いて、条例関係2件、

平成28年度の一般会計・国民健康保険特別会計・介護保険特別会計の補正予算関係3件、工事請負契約の変更、固定資産評価審査委員会委員の選任同意1件の7議案を上程しました。

上げ、浄化槽の維持管理、一勝地村宮住宅の進捗状況、村の主要施策、財政と行政改革など多岐にわたって執行部の考えを質しました。  
(詳細は5頁〜11頁に掲載)

### 【平成28年度一般会計補正予算 など全議案を審議、可決】

条例関係では、「球磨村一般職の任期付職員採用等に関する条例の制定」で、これは高度な専門的な知識経験または優れた識見を一定の期間活用して遂行することが特に必要とさせることを目的として採用ができる条例で、原案のとおり可決しました。

また、「球磨村農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例」は農業

### 【一般質問】

13日の一般質問には、田代利一議員、多武義治議員、高澤康成議員、宮本宣彦議員が登壇。美しい村づくり、地方創生事業、一勝地温泉「かわせみ」の議会特別委員会の提言を受けての対応、観光振興、村長2期目の方針など。

14日の一般質問には、嶽本孝司議員、舟戸治生議員、小川俊治議員が登壇。県道冠水地の嵩

また、「球磨村農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例」は農業

一般会計の主なものは、村民税均等割を課税されていない方を対象にした臨時福祉給付金、7月の梅雨前線豪雨で被災した用水路及び林道の災害復旧工事費、県道改良工事等に対する村負担金などで7,811万9千円を追加し、歳入歳出総額



農業委員の研修



37億6,139万9千円となりました。

また、議員発議による「地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書」を全会一致で可決しました。

### 【契約関係】

村道熊田線改良工事の契約金額が5,000万円以上となるため、条例の規定によって議会の議決を求められたもので、原案のとおり可決されました。

### 【人事関係】

任期満了に伴う村の固定資産評価審査委員会委員の選任同意について、次の方を全会一致で推薦及び選任同意しました。

・固定資産評価審査委員会委員

糸原善行さん（糸原地区）

### 【陳情関係】

「鉄道の安全・安定輸送」及び「地域を支える鉄道の発展」を求める意見書案を採択しました。

## 議案等の審査結果

| 日程 | 議案番号   | 件名  | 結果   |
|----|--------|---|------|
| 第1 | 議案第46号 | 球磨村一般職の任期付職員の採用等に関する条例の制定について             | 原案可決 |
| 2  | 議案第47号 | 球磨村農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の制定について  | 原案可決 |
| 3  | 議案第48号 | 平成28年度球磨村一般会計補正予算について                     | 原案可決 |
| 4  | 議案第49号 | 平成28年度球磨村国民健康保険特別会計補正予算について               | 原案可決 |
| 5  | 議案第50号 | 平成28年度球磨村介護保険特別会計補正予算について                 | 原案可決 |
| 6  | 議案第51号 | 工事請負契約の変更について                             | 原案可決 |
| 7  | 同意第3号  | 球磨村固定資産評価審査委員会委員の選任同意について                 | 原案同意 |
| 8  | 発議第7号  | 地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書案                 | 原案可決 |
| 9  | 発議第8号  | 「鉄道の安全・安定輸送」及び「地域を支える鉄道の発展」を求める意見書の提出について | 原案可決 |

# 一般質問における発言の要旨一覧

| 質問者    | 質問の要旨  |
|--------|--|
| 田代利一議員 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 美しい村づくりに関する地域資源の活用と事業の取り組み</li> <li>2. フットパスについて</li> <li>3. 地方創生事業に関わる村の取り組み</li> <li>4. 高齢者の事故防止と法令講習について</li> </ol>   |
| 多武義治議員 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 一勝地温泉かわせみの議会特別委員会からの提言を受けての対応</li> </ol>   |
| 高澤康成議員 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 球磨村観光の新たな起爆剤として、かわせみのコンサルタント報告にも記載されている球磨川ジェットボート事業の村の考え</li> <li>2. その他の観光振興について</li> <li>3. 住民主体活動の支援について</li> </ol>   |
| 宮本宣彦議員 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 村長2期目の方針で、村長が考える独自の施策について</li> <li>2. 村民所得の向上で幸福度がより上がる方策について</li> <li>3. 交流人口の促進について</li> </ol>   |
| 嶽本孝司議員 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 県道冠水地帯の嵩上げについて</li> <li>2. 浄化槽の維持管理について</li> <li>3. 一勝地地区村営住宅の進捗状況と今後の定住促進について</li> </ol>  |
| 舟戸治生議員 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 障がい者就労支援について</li> <li>2. 生活保護制度について</li> <li>3. 環境保全事業について</li> <li>4. 地下水保全について</li> <li>5. 水産振興対策事業について</li> <li>6. ズビエの里活用協議会委託事業について</li> <li>7. 総合運動公園周辺施設について</li> <li>8. 学校ICT事業について</li> </ol> |
| 小川俊治議員 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 財政と行政改革について             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 地方交付税の推移と今後の課題</li> <li>(2) 総人件費の推移</li> <li>(3) 増大する公的サービスと人件費の推移</li> <li>(4) 職場環境の改善</li> </ol> </li> </ol>                      |

# 地方創生、20年後、30年後の 球磨村の将来像は

**答** 学校のICT化の機械、タブレットを事業で取り入れたのは本当によかった。子供たちが立派に育つと思う。



渡利城跡がある城山

**田代議員** 球磨村の地域資源の二つ、

宝である渡利城跡を村で購入する予定はあるか。また、散策コースを整備し、今注目されているフットパスコースの計画はないか。

**柳詰村長** 歴史的な価値があることはわかっているが、山の購入については、今のところ考えていない。村では、田舎の体験交流館さんがうらで、里山さんぽという形でフットパスの4コースに取り組んでいる。また、3年目を迎えたエメラルドグリーン街道ウォーキングが定着し、本年300人近い参加があった。更に規模拡大をしていきたい。

**田代議員** 中津地区と茂田地区を結ぶ山道に、落合石がある。看板など立てて情報発信していただきたい。

**柳詰村長** 落合石以外にもありのままで楽しめるものがあるのか、地

域の皆さんのご理解も必要である。道路事情の調査など実施した後、可能であれば取り組んでよいのではないか。

**田代議員** 現在、地方創生加速化交付金の6,500万円を活用し、地方創生事業が展開されているが、その進捗状況は。

**柳詰村長** 事業費6,700万円で、8つの事業が進んでいる。

**金栗企画振興課長** 木質バイオマス実用化事業では、既に1名の運転手を雇用し、ダンプトラックとフォークリフトは既に発注済である。清流を活用した産業創出事業では、11月から2名を雇用し、今後、市場調査を行い、2月には成魚の搬入予定である。日本の棚田百選耕作推進事業では2名を雇用し、現在、棚田の修復事業とそば、梨の加工品を使ったスイーツ試作を実施中である。福祉

有償運送事業では、社協で事業の承認をとり、11月に2名で事業を終えた。健康福祉の里づくり拠点事業では、要項を作成し、2社の見積もりを依頼中である。買い物支援事業では、2回の委員会を開催し、事業者ヒアリングが終了した。ニーズ調査として65歳以上の全村民にアンケートをお願いし、3月には報告書を作成する。人と森を育て水を育む事業では、11月から造林作業8名が既に作業を実施している。挿し木苗生産事業では、試験的な事業を進めながら、用地の取得と機械購入、2月から3月に本格的に稼働する。

**田代議員** 高齢者の交通事故が起きている。事故防止について、以前よりそれぞれの地区で法令講習があった。事故がないよう法令講習等できないか。

**大瀬総務課長** 地区安全協会会員の加入率が下がっている。協会での講習会の形がとりにくくなっているのではないか。機会を捉え、近況の交通事故の状況とか、いろいろな備えについて啓発をしていくことが大事だと思う。



田代利一議員



# かわせみの経営改善に関しては

**答** 本気でやっている。

**多武議員** 一勝地温泉「かわせみ」の赤字経営について、議会としても経営の改善を図るため特別委員会を設置し、関係者からの聞き取り調査などを行い、9月議会で改善策の提言を行った。その内容は、1点目が、働く全ての人が接客技術を身につけ実践する。2点目が、取締役はじめ働く人が営業意識を常に持つ。3点目が、村の食材を使ったかわせみでしか食べられない料理の開発。4点目が、評判のよい温泉の泉質をPR。5点目が、取締役会のあり方を検討。以上の内容である。その後、どのような対応をされたのか。

12月からはメニュー表の一新とともに、食事料金を下げリニューアルしたところだ。4点目は、インパクトのある看板の設置や、美肌湯をキャッチコピーに、ポスターとチラシの作成を進めている。5点目は、役員職を取締役にするのは問題であることは認識しているが、民間に求めて

も費用がかかる。まずは、赤字経営からの脱却を目指したい。

**多武議員** 専門家を交えたおもてなし研修会などを行い、どのように変わったのか。

**柳詰村長** お客様からのアンケートで、よく基本指導がなされているとの意見もある。おもてなし研修会は、費用はかかるが、続けることが必要だと思っている。

**多武議員** 営業について、他の取締役の意識は。  
**内布副村長** 法事や老人会などあらゆる会合で、かわせみ利用のPRをしている。  
**友尻教育長** 特に、村外の会合で出席した時に、かわせみの温泉と食事について、話題にするように心がけている。

**多武議員** かわせみの従業員の給料



多武 義治 議員

は低い状態にある。営業に関して、例えば、従業員が宴会の注文を受けてきた時、売上の2%ぐらいは、営業の成果として給料に反映してもいいのではないかと思っているが。

**柳詰村長** これまで、なかなか給料を上げることができなかった。今言われたことは検討し、ぜひ取り入れてみたいと思う。

**多武議員** 来年度の予算で、かわせみに対する運営資金を増やしたいとの説明があった。例えば、宿泊された方に次の宿泊で使える3千円の割引券を発行すると、また来ていただけるのではないかと思う。経費だけが增える予算の使い方ではなく、いろいろな付加価値がつく予算の使い方も必要だ。

**柳詰村長** 内部で検討したい。  
**多武議員** かわせみの経営改善に関して、委員会報告書にも書いているように「あとは本気でやるからやらなにかにかかっている」と思うが。

**柳詰村長** 本気でやっている。



オープンして20年過ぎた「かわせみ」

**高澤議員** 球磨川の観光振興について伺う。

今年発生した熊本地震では、県内各地に大きな被害をもたらした。

観光面においても、余震への不安や風評被害により大きなダメージを受けた。県内主要ホテルの7月から9月の宿泊客数は前年対比85%、海外客は約40%にまで落ちこんだ。

現在は余震も落ち着き『九州復興割』による宿泊補助などもあるので、徐々に観光客も増加しているようだ。

一勝地温泉かわせみも利用客及び宿泊客も増加し、来春にはS1に加え、熊本～人吉間にかわせみ・やませみという名の観光列車を走らせる事となっているようだ。多くの観光客が球磨村で途中下車し村の魅力を満喫してほしいと切に願っており、我々も誘客に向けた新たな取組みを行わ

ないと単なる通過地点で終り、球磨村観光振興策への期待とまた心配もしているところだ。

一勝地温泉かわせみにおけるコンサルティング報告書の中にくつかの中期的经营戦略が提言されており、球磨村にとって重要な観光振興策となるものがあつた。

球磨村は球磨川をはじめとした素晴らしい自然環境に恵まれラフティング等観光客も見込めるリソースを有している。

今後人気が爆発しそうな球磨川ジェット事業についても触れている。この球磨川ジェット事業においては関係する団体・住民間でさまざまな賛否があるようだが、村としての考えは未だ聞いていない状況だ。確かに二民間事業の計画であり、環境へ影響・鮎や稚魚への影響・球

磨川沿線住民への配慮等があるが、経済波及効果・雇用の増・税金など、相乗効果は相当なものであると思う。

この計画は私よりも村長が詳しく承知の事と思うし、村長の考えはどのようなものか伺う。

なお、現在取り組んでいる観光振興事業について、地域住民と一緒に作っていく観光振興と住民主体の活動について村の支援の考えを伺う。

**柳詰村長** コンサルティング報告書では、球磨川ジェットを一勝地温泉かわせみの組織に取り込み、共同事業として相乗効果を狙う事等も考えられる内容であつた。事業主体には球磨川漁協や地域住民の理解を得てから、お願いしたいということでご買上りして申し上げている。球磨村が間に入

り調整する事は考えていない。

住民主体の活動については自発的な取組みを尊重し、できる限り支援をしていきたいと思っている。

**金業企画振興課長** 地域住民の皆様のご協力や、心からのおもてなし、人が楽しんでいただく事や喜んでいただく事を大事としながら、住民主体でやっておられる事に精一杯支援をしていきたいと思っている。

**答**

村が間に入り調整することは考えていない。

球磨川ジェット事業の村の考えは



高澤 康成 議員



人気爆発しそうなジェットボート



# 地域の宝とはなにか。 そして、最優先の施策は

**答** 豊かな自然を育んでいる人々。  
子どもはむらの宝

**宮本議員** 総合戦略の4つの基本目標をもとに進めたいという中で、村長は今後どのような方策を自分の思いとして進めていかれるのか。

**柳詰村長** やらなければいけないことが山積している。村民による村民のための防災活動に取り組んで行く。人の命が一番である。治水対策と急傾斜地対策、居住関係の道路網の整備もやらなければならぬ。どれか一つ取り上げるとすれば「子供は村の宝」ということで、学校教育をここ2、3年しっかりと取り組むたい。

**宮本議員** 出生児祝金をもらった方が増えたという喜ばしい話があった。今後の思いは。

**柳詰村長** 普通は1か月に2人位であったのが、11月は6人の方が子供を村長室に連れてこられ、中には、3世代で住まわれ3人の子供が産ま

れたという方がおられた。村としては子育て支援に一生懸命頑張るから、一緒に頑張ろうと申し上げた。

**宮本議員** 村民の幸福度がより上がる方策については、住みやすさ、暮らしやすさの保障として、安心して暮らせる住環境の整備と健康に暮らせる環境に集約されると思うが。

**柳詰村長** 少子高齢化や価値観の多様化が進む中、本来、地域や家庭が持っていた共助の機能が低下し、介護、青少年の健全育成、地域の安全やまちづくりなど、様々な分野で多くの問題が生じている。

村民の方々と行政とが智慧と力を出し合い、協働の環境づくりが不可欠である。地域を支える新たなコミュニティによる住民自治を推進し、その活動の場づくりや組織強化の支援に努



宮本 宣彦 議員

めたい。

**宮本議員** 住民座談会を開くことにより、地域の声が聞けると思うが計画は。

**柳詰村長** 住民座談会はやらせていただきたい。今、村民防災会議を作りに上げた。地域に向いて、いろん



子どもは村の宝

な要望を聞いて取り入れたい。

**宮本議員** 6次産業化の推進がいろんな説明の中で出てきていたと思うが、今どのように考えているか。

**柳詰村長** 所得の向上である。球磨村は熊本県下で最下位である。企業所得がないこと、大企業がないということ、底上げができなくて給与所得だけになっている。認定農業者には支援をし、新規就農者とは一緒にやっていく。農業については、狭いところで棚田と枚数も多く圃場整備ができていなく、基盤整備ができていないので大変厳しい。例えば、ミシマサイコとかアマナガトウガラシとか組み合わせてやっていけば、所得が上がるのではないか。

**宮本議員** ミシマサイコは球磨郡市で一大産業となっている。地域と農家、そして企業が一体となって、特産品を作りあげブランドかを目指す方向性は必要であり、それが6次産業化を推進することになるので検討していただきたい。



浄化槽の保守点検を  
毎月実施しているが

**答** 「きれいな水を流すために毎月1回実施している」との答えだった。



球磨川増水時に冠水する県道の池の下、淋間

**嶽本議員** 県道人吉水俣線と、県道一勝地神瀬線の一部が、大雨時の増水により冠水する場所がある。この箇所のかさ上げ工事計画の予定は。

**柳詰村長** 県道の冠水による集落の孤立状態は、喫緊の課題だ。これまでも、国や県に対して、かさ上げ工事の要望をしてきた経過がある。今年2月に、県よりかさ上げ計画の説明があった。具体的なことは、設計の協議で分かってくると思うので、その都度、議会にも説明したい。

**嶽本議員** 以前、淋地区の神社付近を川の駅としての計画があったが、今はどうなっているのか。

**柳詰村長** 国、県や村、地元と一体となって進めていたが、周辺の地盤が非常に軟弱で費用も要するとのことで、すぐには着工できる状況になりつつある。

**嶽本議員** 次に、浄化槽の維持管理

は、県が行う年1回の法定検査がある。また、保守点検は、毎月点検されているのが大半のようだ。毎月の点検料を支払うのは苦しい、もっと安くならないかとの声もあるが。

**戸屋健康衛生課長** 人吉保健所連絡会議の中で、「保守点検を法では20人以下の浄化槽の場合、年4回以上となっているが、なぜ毎月しないといけないのか」という内容の質問を行った。これに対し「球磨川の環境基準、水質保全の基準が厳しい設定になっている関係で、きれいな水を流すために、毎月1回実施している」との答えだった。

**嶽本議員** 2か月に1回ぐらいの点検でも、いいのではないか。

**柳詰村長** 点検の回数法と矛盾しているようなので、保健所に問い合わせ、何かできないか考えてみたいと思う。

**嶽本議員** JA球磨村店が、二子村営住宅の近くに移転すると聞いている。その際、浄化槽の排水先を国道側をお願いしたい。近くに3戸の住宅があり、浄化槽の排水先が水田の方に流れている。水田の所有者からの苦情があっているが、どのような対応をされたのか。

**大瀬総務課長** 法的には問題ないので、そのままになっている。

**嶽本議員** 国道側に排水していただくようお願いしたい。次に、建設が進められている一勝地村営住宅の進捗状況と、今後の定住促進の方針を。

**柳詰村長** 12月1日に契約し、3月中旬頃の竣工予定だ。また、今後の定住促進については、急激な過疎化、人口減少の現状に少しでも歯どめをかける村の重要施策として、住宅建設を実施してきている。今後も財政状況を見て進めていきたい。

**嶽本議員** 一勝地村営住宅建設の予算化は早かったが、なぜ、入札、契約がここまで遅れたのか。

**大瀬総務課長** 建設予定地の仮設住宅に、2世帯入居されていた関係で、退居まで時間がかかってしまった。



嶽本 孝司 議員

# 適切な地下水の保全計画の考えは

**答** 大無田・黄檗地区の山林を考えている

**舟戸議員** 障がいのある人が雇用・

就労の促進を通して、その能力を最大限発揮し、多様な可能性に挑戦できる社会の実現に向けて、それに基づく運動や施策など障がいの者の就労支援について伺う。

**柳詰村長** 障がいのある人の自立に向けて、専門相談員からの指導・援助を受けるとともに、就労移行支援や就労継続支援に積極的に取り組んでおり、今後も就労支援に職場定着に向けた取り組みを強化していく考えである。

**舟戸議員** 就業支援については、さまざまなケースがあると思うが、職場定着に向けた支援についての考えは。

**柳詰村長** 今後も引き続き、事業者や相談員、行政など、関係機関が連携して障がいの者の職場定着に向けて取り組んで行く。

**舟戸議員** 厚生労働省が定める基準で定められている最低生活より世帯

帯の収入が少なければ、その差額が生活保護費として支給されるようだが、最低生活費については。

**柳詰村長** 熊本県の基準により算定される。年齢や家族構成により基準額は異なっており、65歳でひとり暮らしの場合、生活扶助費は60,310円となる。

**舟戸議員** 廃棄物の不法投棄、状況の確認や、未然に防止するために村内各地の不法投棄防止啓発事業、パトロール、状況は。

**柳詰村長** 人吉保健所が人吉球磨管内を、約一週間かけて実施している。球磨村でも保健所、人吉警察署、熊本県産業廃棄物協会と合同パトロールを実施している。

**舟戸議員** 適切な地下水の保全計画は考えているか。

**柳詰村長** 現在のところ策定していないが、村簡易水道の水源地の保全構想として、大無田、黄檗地区湧水の根源となる集水区域の山林を考え



舟戸 治生 議員

ている。

**舟戸議員** 水産振興対策事業で、内河川にヤマメの稚魚等の放流後の追跡調査をされているのか。

**柳詰村長** 稚魚放流個体の追跡調査は実施していないが、今後も自然豊かな川の景観維持に努めていき、貴



水源かん養機能として大切な森林

重な水産資源の確保を行っていく。  
**舟戸議員** シビエの里活用協議会事業の稼働率は。

**柳詰村長** 持ち込み頭数、販売実績が年々減少し、昨年は過去最低の販売実績だった。今後においては、捕獲したシカの持ち込み頭数の確保が必要不可欠だ。

**舟戸議員** 総合運動公園のさくらドーム周辺の整備についての考えを。

**柳詰村長** ふれあいまつりでは、雨天のため会場がぬかるみ、来場の皆様には大変迷惑をかけた。普段は駐車場として使用しているので、碎石を補いながら整備していく考えである。

**舟戸議員** 学校ICT授業を学校教育の重点事項に取り組んでいるが、ICT機器使用による健康面の影響はないのか。

**柳詰村長** 影響がないように、環境や児童の姿勢等について細心の注意を払い、使用している状況である。今後もICT機器を効果的に活用し、学力向上や教育活動の質を高めることで、将来への可能性が広がられるよう取り組んで行く。



# 必要な事業の財源不足に 対する措置は

**答** 起債や基金の取り崩しが考えられる

**小川議員** 地方交付税の推移と今後の対応課題、総人件費の比率と推移、社会保障と人件費の推移について伺う。

**柳詰村長** 歳出における総人件費は平成23年度17・7%、平成27年度13%で推移している。行政運営の中で簡単に削減できない経費であるが、経常収支比率は県下でも健全財政とみられる数値。この水準を維持したい。社会保障と人件費の推移については、平成27年度から医療と介護の連携、認知症への早期対応、生活支援体制の整備などでの人材配置が必要であり、人件費が増加する見込み。

**大瀬総務課長** 自主財源の比率と推移は23年度と25年度は15%前後で推移し、26年27年は基金からの繰り入れがあり自主財源の占める割合が大

きくなっている。

**小川議員** 国の29年度予算編成、地方交付税交付が前年度の繰り越しが見込めないことから財源不足が生じるとされている。必要な財政措置は

とされている。必要な財政措置はされると思うが、年々膨らむ決算額や依存財源の比率が高い本村の今後を考えるとな財源不足が生じる恐れがあるのではないかと危惧する。これまでの事業の継続と新たな事業を推進する中での財源不足に対する措置の考えは。

**大瀬総務課長** 基準財政需要額が交付額の大きなウェイトを占めており、慎重に計算しながら交付額について見届けていきたい。必要な事業については、地方債の適用状況を見ながら財政調整基金をやむなく取り崩すことも考えられる。

**小川議員** まち・ひと・しごと創生

事業は継続性の高いものもあり、現在の補助が5年を経過すると無くなる見込み。今後の対応は。

**柳詰村長** 継続性の高い事業については優先順位をつけ継続するが、何でも継続する考えはない。ハード事業面での財源については、さまざま

な補助事業を考えていきたいし、財政調整基金や施設整備基金などの積み立てを積極的にやりたい。 **小川議員** 人件費の比率が少なくなっているが、職員の減が人件費を抑えているのか。 **柳詰村長** 経常収支比率が低いことは人件費も案外低く抑えられているのではないかと思う。

**小川議員** 職場環境改善とストレスチェックの取り組みについて伺う。 **柳詰村長** 人事管理、定員管理の適正化については、時間外勤務の発生

時期、人員、時間等を分析し人員配置に努め、適正な運用を行っている。ストレスチェックについては、短時間勤務の非常勤職員を除く全職員を対象に実施し、現在専門機関に委託集計を行っている。

**小川議員** 勤務時間外労働について、可能な限り、課、係を超えての応援体制に努めてもらいたい。ストレスチェックは単なる義務化だけの取り組みではなく、日常的なコミュニケーションを深める中で生かしてもらいたい。



小川 俊治 議員



役場2階の事務室



## 地域文化の継承と親睦を大切に

### 正月の伝統行事「楮皮剥き」

小川地区 班長 小川 成正

1月8日小川班の伝統行事「楮皮剥き」と「しゅんなめじょ」作りが行われました。前日からの楮原木、薪取りから始まる2日間の行事です。

昭和30年代までは、農家の冬閑散期の収入源として、地区内2箇所の釜場で盛んに行われていましたが、チップ等の紙普及により、和紙の需要が減少し、行事もすたれていきました。

小川地区では、平成8年「熊本名水百選」に選ばれた地区の「椎谷供水場」にある釜場を再生し、「楮皮剥き」行事を行うことが決まり、地区伝統行事として復活したものです。

当日は、地区民総出、それに渡小学校4年生17名の「社会体験学習」の一環として保護者等約80名で降りしきる雨にもかかわらず釜場にテントを設営し実施、児童たちも初めは悪戦苦闘でしたが、終り頃には上手に剥くことができ楽しんでいました。



その後、小川公民館に移動し、楮柄と和紙による素朴な「しゅんなめじょ」を作成し、三色餅とともに種粉俵に差し、スムーズな田植えと豊作を祈願しました。出来上がった「しゅんなめじょ」は、渡小学校玄関内に飾られ、児童たちにとっても良い思い出ができたことと思います。(楮-かじ-こうぞ)

### 編集後記

昨年は自然災害の怖さにさらされた1年でした。

阪神淡路大震災、東日本大震災、そして昨年の熊本地震。いずれも大きな被害をもたらしました。「大」で表さない、いろんな災害がありますが1軒、1人でも被災された方の苦しみは同じだと思うのは私ばかりでしょうか。

震度1以上が365日どこかで起きている日本列島、予測しがたい自然災害であるがゆえに地震に対し、まだまだ不十分ではありますが防災に備えるべきでしょう。

地域の安全と安心を確保して、次の世代に手渡していくために、お年寄り、障がい者、男性も女性も協力しあって住みやすい、支え合える地域づくりの大切さを考えさせられました。

本年が穏やかな1年でありますようお願いいたしますとともに、議会広報のご愛読をよろしくお願ひ申し上げます。

小川 俊治

### 議会広報特別委員会

|      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 多武 義治 |
| 副委員長 | 犬童 勝則 |
| 委員   | 小川 俊治 |
| 委員   | 高澤 康成 |
| 委員   | 宮本 宣彦 |